

4つの段階に応じた具体的な取組

未然防止



早期発見



早期対応



重大事態への対処

スクールカウンセラーの役割

未然防止・早期発見

○スクールカウンセラーによる
小5・中1・高1の子供への全員面接の実施

(目的)

- ・子供の特性等を理解して指導に活用
- ・子供の変化やいじめの予兆を発見
- ・カウンセリングへの理解の促進

スクールカウンセラーの役割

未然防止・早期発見

- 教員への効果的な面接の手法等の助言
- 被害の子供やその保護者からの相談への助言
- 授業中や休み時間の子供の状況の観察と
情報共有

スクールカウンセラーや スクールソーシャルワーカーの役割

早期対応・重大事態への対応

- 被害の子供・その保護者のケア
- 加害の子供・その保護者のケア
- 周囲の子供・その保護者(必要に応じて)の
ケア
- 児童相談所や医療機関との連携
- スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問
を通じた家庭状況の把握とケア